

## 平成26年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	平成26年 9月25日(木)	福岡第2合同庁舎5階 第1会議室
委員	牧角 龍憲 (大学教授)      松藤 泰典 (大学名誉教授) 諏佐 マリ (大学准教授)      清水 秀幸 (公認会計士) 増永 弘 (弁護士)	

### I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成26年 4月 1日 ~ 平成26年 6月30日	
審議対象件数	42件	
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	5件	(審議概要) 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 抽出事案について
建 一 般 競 争	0件	
設 一 般 競 争 (政府調達協定対象外)	2件	
工 指 名 競 争	0件	
事 随 意 契 約	0件	
建設コンサルタント業務等	3件	
	意見・質問	回 答
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	<p><b>【建設工事等発注実績について】</b></p> <p style="text-align: center;">特になし</p> <p><b>【指名停止の措置状況について】</b></p> <p style="text-align: center;">特になし</p>	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>【抽出事案について】</b></p> <p><b>1 〔富野(25補)整備場新設土木その他工事〕</b> (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>・「入札・契約状況調書」に記載の辞退(3者)とは、どのような状況だったのか。</p> <p>また、無効とは、調査基準価格を下回った者を対象としていると思われるが、低入札調査を行ったのか。</p> <p>・各者の評価で、企業の施工能力と配置予定技術者の能力の評価点にバラツキが見られるが、技術者の評価と企業の評価は同等とならないのか。</p> <p><b>2 〔大野原外(24補)管理棟新設等その他追加工事〕</b> (一般競争(政府調達協定対象外))(1者応札)</p> <p>・追加工事とは何か。</p> <p>また、本件は第1回入札不調後、見積り採用方式による再公告で見積りによる単価を採用とのことであるが、具体的にはどのような方法によるのか。</p>	<p>・辞退とは、提出された申請書等が参加要件を満たしていたことから、参加資格がある旨の通知を发出した後、参加者の都合により入札を辞退したものである。</p> <p>また、本件は、施工体制確認型総合評価方式であり、入札価格が調査基準価格を下回った者には追加資料を求めているが、未提出の場合には入札を無効とする方式であり、低入札調査を行ったわけではない。</p> <p>・企業の施工能力と配置予定技術者の能力の評価は、それぞれの施工実績及び成績等を評価するため、必ずしも同等とならない。</p> <p>・予算不足等により完成出来ないことから、現在施工中の前工事に引き続き施工する後工事のことを追加工事と称している。</p> <p>なお、積算価格については追加工事であっても積算基準による積算が基本であるが、入札不調となった案件に対し、発注者側と乖離の大きい工種について、競争参加者から提出された見積書をヒアリングし、妥当性を確認できた見積りを積算価格に反映させる方式である。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・予算が不足して追加工事となることは良くあるのか。事業化されたものであれば経費節減や工期を短縮するためにも、予算が不足する場合には優先して完成させるといったことをすべきではないのか。</p> <p>また、運用開始時期が決まっていれば、確実に完成しなければ支障があるのではないのか。民間では考えられないが、こういう発注の仕方について防衛局としてはどう考えているのか。</p> <p><b>3〔目達原(25補)庁舎新設等建築その他設計〕</b> (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>・入札公告から技術提案書等の提出まで10日程度であるが、庁舎新設に係る設計の提案書作成期間としては妥当なのか。</p> <p>・設計業務における履行確実性総合評価とはどのようなものか。</p> <p>・本件における評価テーマとはどのようなものか。</p>	<p>・本来完成ベースで発注することが望ましいが、最近の急激な物価変動等による積算価格との乖離があり、予算不足となりやすい状況である。</p> <p>また、予算に過不足が生じた場合はスケジュールに間に合うよう柔軟な予算措置を本部へ調整しているところであるが、限られた予算の中、全国的な観点で決定され、各局に割り当てられた予算の範囲で実行しているところである。</p> <p>当局としても、追加工事が好ましいとは思わないが、多少発生するのはやむを得ない状況である。</p> <p>・年間発注見通しが公表されていることで、企業もあらかじめ準備等をしており、同種の設計業務もあること、特殊な条件がない通常の庁舎であることから妥当な期間であると判断している。</p> <p>・品質確保対策として適用している方式で、入札価格が調査基準価格を下回った者に対しては厳格に履行の確実性について審査することとなる。なお、工事における施工体制確認型と同じくダンピング防止の効果もある。</p> <p>・庁舎完成後の維持管理のしやすさを求めている。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<b>4</b> 〔熊本防衛支局管内(25補)津波シミュレーション調査(その2)、熊本防衛支局管内(25補)津波シミュレーション調査(その1)〕 (一般競争(政府調達協定対象外)) ・津波シミュレーション調査とはどのようなものか。 ・自治体や他省庁等でも同様の調査が実施されていると思うが、今回の調査については防衛省独自なのか。 ・自衛隊施設の情報管理について問題は生じないのか。	・本調査は、津波による基地内の構造物や車両等が受ける影響及び被害を想定するもので、その後各基地においてどのような対策を必要とするか検討するために必要なものである。 ・基地に特化していることから自治体等のデータに比べ精度が高くなっている。 ・業者には守秘義務があり、十分に管理できると思料する。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数		0件	(審議概要) 該当案件なし
工	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審議概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一位不動の分析</li> <li>・順位不動の分析</li> <li>・低入札・不調・不成立事案の分析</li> <li>・落札率・応札率の分析</li> </ul>	
○委員からの 質問・意見  ○それに対する 回答等	意見・質問	回答
	なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	